

第3回日メコン経済大臣会合 共同メディア声明
(2011年8月14日、マナド(インドネシア))

1. 第3回日メコン経済大臣会合は、カンボジアのチャン・プラシッド商業大臣と日本の海江田経済産業大臣との共同議長の下、インドネシア・マナドで2011年8月14日に開催され、ラオスからブンソム・ポマウィハネ商工省外国貿易総局長、ミャンマーからティン・ナイン・ティン国家計画・経済開発大臣、タイからシーラット・ラスパタナ商務省貿易交渉局長、ベトナムからグエン・カム・トゥ商工副大臣、プシュパナタン・サンドラム ASEAN 経済共同体担当次長が出席した。
2. 今次会合では、昨年8月26日ベトナム・ダナンで開催された第2回会合で報告・歓迎された「MJ-Cl行動計画」の進捗をレビューした。閣僚は、「MJ-Cl行動計画」に基づき、ハードインフラの整備、貿易円滑化、中小企業の強化、サービス産業・新産業の強化の各分野で、着実な進展が見られたこと、とりわけ、カimeツプ・チーバイ港、ネアック・ルン橋、第3メコン大橋の整備、アジア・カーゴ・ハイウェイ構想の提案、農業と食品加工産業の成長可能性に関する包括的調査の実施において大きな前進があったことを強調し、歓迎した。
3. 閣僚は、各国別の産業政府対話と、第4回日メコン産業政府対話での議論を経て特定された将来の重点分野に関し、日アセアン経済産業協力委員会・西東回廊開発ワーキンググループ (AMEICC WEC-WG)の下で、引き続き、産業界・政府機関・国際機関と密接に調整し、実施していくことを確認した。
4. 閣僚は、特にハードインフラ整備と貿易円滑化に関する取組については、アセアン及び東アジア地域における様々なイニシアティブ(ADB-GMS、アセアン連結性マスタープラン、アジア総合開発計画、アジア・カーゴ・ハイウェイ構想)と密接に連携し、効率的に実施していくことを強調した。
5. 閣僚は、中小企業の強化、サービス産業・新産業の強化に関する取組については、メコン各国のニーズに基づき、有望産業を特定し、開発協力の高い優先順位を与えて更に進めていくべきであることを再確認した。
6. 閣僚は、ハードインフラ整備の進捗状況や域内物流コスト・時間の削減状況など「MJ-Cl行動計画」の進捗状況につき、セミナーやホームページ等を通じて、官民で情報共有を図っていくべきとの認識を共有した。
7. 閣僚は、2015年のASEAN経済共同体の構築に向け、「AECブループリント」と「アセアン統合イニシアティブ (IAI) 作業計画 II」と整合性を取りつつ、MJ-Cl行動計画の実施を加速化すべきことを強調した。この観点から、閣僚は、日アセアン経済産業協力委員会・西東回廊開発ワーキンググループ (AMEICC WEC-WG)に、本年のプログレスレポートで重点取組とされた分野について工程表を策定させ、これを、2012年の次回日メコン経済大臣会合に提出することを指示した。閣僚は、工程表の実施状況について、定期的に進捗のレビューを行うこととする。